

## 2018年度 新旧合同 第一回常任幹事会 議事録

日時：2018年3月16日（金）

場所：大阪科学技術センター701号室

出席者（順不同 敬称略）：辻（阪市大）、川崎（関西大学）、中原（和歌山大）、吉田（京工繊大）、堀田（神戸大）、牧（神戸大）、青山（島津）、高山（日鉄住金属テク）、塚原（阪大）、永井（産総研）、糟野（龍谷大）、塚越（同志社大）、中山（住電）、橋田（大塚電子）、久本（阪府大）、松本（和歌山工技）、森澤（近大）、山口（大阪薬大）、宇田（奈良高専）、大塚（京大）、岡本（阪大）、倉内（京都電子）、鈴江（紀本電子）、床波（阪府大）、長谷川（京大）、矢嶋（和歌山大）

### 0. 新旧常任幹事およびWG担当案の紹介

辻支部長よりWG担当者の紹介があった。近畿支部から異動された三宅様（堀場製作所）を分析講習会実行委員から割愛された旨、説明があった。

### 1. 本部理事会報告

大塚浩二本部副会長より、2017年度第5回理事会議事（資料No. 2-1）に基づき、以下の内容について報告があった。

- 本部定款の変更について、代議員による書面審議では全員の承諾が得られなかったため、定期総会にて決議されることになった。本会奨励賞および先端分析技術賞の受賞者は、これまで「分析化学」に投稿することが求められていたが、「本会論文誌に受賞研究に関する論文を投稿しなければならない」と修正されたことが報告された。
- 日本分析化学会の代議員候補者名簿が、1月号に掲載されるべきところ、2月号に掲載された。この経緯について説明があった。加えて、「ぶんせき」4月号にて会長から釈明文が掲載される予定。
- 2021年ICASがJASISと合同で幕張にて開催される予定であるため、同年の分析化学討論会を近畿支部に担当してほしいとの要請があった。それに対し、年会開催のノウハウを継続するため、1年ずらして2022年に近畿支部が年会を担当する案を、近畿支部が提案している。これに関しては継続審議中である。
- 各誌（ぶんせき、分析化学、Analytical Sciences）の2018年度編集委員の紹介があった。
- 学会会員の変遷に関して、学会会員数は減少。とくに学生会員数が減少したが、正会員数は増えていることが報告された。

辻支部長より、下記の点が付け加えられた。

- 各賞の申請書・履歴書に、住所と本籍を書く欄が削除される見込みである。

- 代議員には4/24の総会に出席していただきたいとの要請があった。

### 3. 2017年度 支部関係報告

#### (1) 2017年度 事業報告

資料 No. 3 に基づき、床波庶務幹事より2017年度支部事業（常任幹事会・幹事会、ぶんせき講習会、支部講演会、近分懇奨励賞、役員選考委員会）が報告され、承認された。

#### (2) 2017年度 会計決算報告

資料 No. 4 および No. 13-1 に基づき、鈴江会計幹事より、2017年度会計決算が報告され、承認された。

- 各事業とも予算どおり事業が行われた。
- 第77回分析化学討論会の剰余金の一部として、1,222,300円の分配金が支部収入として加わった。自分たちが使用する合同事務局6F610号室（会議室）の備品購入に充てた。
- HP管理費として、WEBからの申し込みを可能にするソフトを購入した。
- 近畿支部創設65周年記念事業費として、650,000円の予算を計上している。

### 4. 2018年度 近畿支部事業予定

#### (1) 支部役員

資料 No. 5 に基づき、辻支部長より新任の役員を中心に紹介され、異議なく承認された。

#### (2) 常任幹事会・幹事会スケジュール

資料 No. 6 に基づき、中原庶務幹事より2018年度の常任幹事会、幹事会の日程および現在確定しているセミナーとぶんせき講習会の日程について報告があった。（発展編の日程は変更される見込みである——>11/30に変更された）

#### (3) ぶんせき講習会

資料 No. 7 に基づき、川崎実行委員長よりぶんせき講習会の全体像について説明があった。

- 今年度より、WEB申し込み・自動返信のシステムを導入したことが報告された。フォームを変更する場合は有料となる。申込者にとって受付完了の有無が分かりにくいとの指摘があったが、定員に達した時点で、事務局から受付が完了した由を知らせる一斉メールを配信することが提案された。65周年および夏季セミナーにも同システムの導入を検討する。
- ぶんせき講習会実行委員として、異動された三宅様に代わり、桑本様（堀場アドバンステクノ）を加えることが提案されたが、桑本様には基礎編その2の講師として継続して協力を求めることとし、今年度の常任幹事会の体制は変更しないこととなった。
- 資料7-9をもとに、ぶんせき講習会（実践編）のプログラムがその場で承認され、会告をぶんせき誌に掲載依頼する。

- 申し込み状況： 基礎編その 1 (4 名), 基礎編その 2 (2 名), 周囲の方にお声かけすることとなった.
- 11 月 22 日に設定されていたぶんせき講習会 (発展編) が, 他の学会と重なるため, 別日に変更される由, 塚原委員から報告された. (その後, 11/30 に変更となった.)

#### (4) 支部講演会 WG

中原庶務幹事より, 4/13 に開催予定の支部講演会について説明があった. 講演者は, 尾崎幸洋先生 (関西学院大), 山田悦先生 (京都工芸繊維大) である.

#### (5) 提案公募型セミナーWG

資料 No. 9 に基づき, 高山 WG 責任者より, 1 件申し込みがあったことが報告された. 申込期限を開催日の 4 ヶ月前から 2 ヶ月前の間と規約の一部を改正したこともあり, 昨年度実施の 2 件のセミナーはこの改定によりセミナーの承認を得ることが可能であった. 申請のあった 4/24 開催のセミナー提案について説明が行われ, 異議なく承認された. なお, 同じテーマで継続する案件についてはお断りすることが確認された.

#### (6) HP & ニュース WG

資料 No. 10 に基づき, 永井 WG 責任者より, ぶんきんニュースの発刊予定について報告があった. ぶんせき講習会実践編の会告も掲載する予定. 4 月発行予定のフレッシュ役員紹介の原稿が若干遅れていることが報告された.

#### (7) 若手セミナーWG

資料 No. 11 に基づき, 森澤 WG 副責任者より, 8/30-31 にすかつとランド九頭竜 (福井県福井市) で行われることが報告された. セミナーでは, 従来からの学生のショートプレゼンテーション・ポスター発表の他に, アクティビティーが入る予定. 講演は, 企業新製品紹介, 中部奨励賞受賞者講演 (中部), 中堅研究者による依頼講演 (近畿) が計画されている.

中部支部 (広告依頼, ポスターボードの準備) と近畿支部 (会計) で役割分担をすることになっている. 今年度から近畿支部にて採用している WEB 申込を利用する予定. 会告は「ぶんせき」6 月号に掲載予定.

#### (8) 近畿支部 65 周年記念事業について

資料 No. 12 に基づき, 辻支部長より, 説明があった.

- WEB 申込システムを通じて, 参加申込, ポスター発表の講演要旨提出することとなった. 会告は, 「ぶんせき」5 月号に掲載予定. 大学・企業からの講演 2 件, パネルディスカッション 1 件, ポスターセッション 100 件の見込み

- 岡田会長，企業からの祝辞等を頂く予定.
- 記念事業として，予稿集を製本することが検討されている．白黒 15 万円，カラー 30 万円（編集料込）程度の額が見積もられている．支部に余剰金があるので，それを出版事業に充てることとした．
- 詳細は，実行委員長に一任することとした．

#### 5. 2018 年度 支部予算案

堀田会計幹事より 2018 年度予算案について説明があり，異議なく承認された．

#### 6. 役員選考委員選出について

資料 No. 14 に基づき辻支部長より，役員選考委員の選出数（8 名）および役目・任期が説明され，2018 年度は新たに [理] 1 名， [工] 2 名， [医薬] 1 名， [業界] 1 名を選出することが説明された．メールによる事前推薦の結果を参考に，下記の方々（敬称略）が選出され，全会一致で承認された．

[理] 塚原 聡（阪大院理）

[工] 久本秀明（阪府大院工），尾関 徹（兵庫教育大） [次点：山本雅博（甲南大理工）]

→その後，尾関先生が以前[理]で役員選考委員をされていたため，山本先生に役員選考委員をお願いすることとした．

[医薬] 鈴木茂生（近畿大薬）

[業界] 西埜 誠（島津）， [次点：青山佳弘（島津）]

#### 7. その他

近畿支部印の電子印章の各種支部事業における使用が正式に承認された．ただし、使用する場合には，事前に支部長の了承を得ることとした．「ぶんせき講習会（基礎編その 1）」より使用される．

有功賞の公募内容説明と経過報告が行われた．有功賞（支部長推薦）に 1 件の応募があったが，規程に沿ったものであり承認された．協賛事業 2 件についても承認した．

以上